

◎付記

①四字熟語の選択に当たっては、もっぱら漢語で、しかも音読する言葉を選び、次のような言葉は除いた。

・「青息吐息（あおいきといき）」「手練手管（てレンてくだ）」のような和漢複合語。

・「懲羹吹膾（あつものにこりてなますをふく）」「琴瑟相和（キンシツあいワす）」のような、通常、

訓読の形でしか用いられないもの。

・「水魚之交（スイギョのまじわり）」「螢雪之功（ケイセツのコウ）」のような、「之」の字を含み、

訓読形になるもの。

以上のような言葉は、四字熟語とは一線を画して、むしろ、『故事ことわざ辞典』などに収録されるべき言葉であると考えたからである。

②見出し語、および解説の項では、漢字の音はカタカナで示し、訓はひらがなで示した。ただし、例文では、一般書籍に準じて、音も訓もひらがなでルビをふった。